剣の心を後世に
新陰流・円明流稽古会

武家の古都鎌倉にある武術は流鏑馬だけではない。古武術―柳生新陰流、宮本武蔵が若い時に創流した円明流、貫流槍術、それに鎌倉に関係の深い静流自在剣（ナギナタ）が今もしっかりと息づき、生活とともにある。春風館関東支部長、柳生新陰流師範・赤羽根龍夫さんにうかがった。

古武術には体使いのエッセンスが

―赤羽根さんは文学の研究をされている方（神奈川歯科大学名誉教授、「鎌倉朝日」に「文学つれづれ」を連載中。近著を纏め『作家の心を旅する鎌倉文学散歩』＝冬花社＝を発刊）と認識していましたが、他方で武道を究めておられる。どのようなお考えからですか。

実は私の家系は、江戸時代には幕府の御家人でして、剣術の師範をしていました。そうした関係から子どもの頃から武術に興味をもっていました。一方、大学では哲学科に入学しました。

―書かれている文章によりますと「武道遍歴の後春風館道場の門人となり」とありますが、最初から春風館道場の門人として武術の技を磨いてきたわけではないのですか。

哲学の分野に身体論があります。その関わりから日本人の身体に興味を持ち、日本の武術の研究をしていたのですが、「江戸時代の武士の武術とは何なのか」というテーマを立て研究し始めました。

ところが明治維新などんどの武術がスポーツ化されてしまっていて、伝統的日本の武術ではなくなっていました。「本当の武術とはどういうものなんだろう」とあれこれ調べていると、名古屋にある春風館道場の柳生新陰流が江戸時代に使われていたままに引き継がれている武術だということが分かりました。「これだ！」と思いすぐさまそれまでやってきた武術を全て捨てて入門しました。

赤羽根龍夫　柳生新陰流・貫流槍術師範、尾張円明流十七代継承者

―春風館入門以前の遍歴についてお話を。

古武術は、命を賭けた戦いから生まれました。ですからそこには日本人の体使いのエッセンスが含まれています。勿論、今は戦いのない時代ですから実用のためではありませんが、その構え、動きに含まれている体使いは現代人に有効な、日本人にとって伝えてゆくべき重要な体使いが残っています。最近そのあたりをテーマに『古武術「仙骨操法」のススメ』（BABジャパン刊）を出版しました。

柳生新陰流　武術と心理学が合体

―柳生新陰流とほどのような武道でしょうか。

秀吉の時代、柳生宗厳、宗矩親子が徳川家康に出会って無刀取りを披露したことによって徳川家康の信頼を得て、徳川家の御家流になりました。新陰流の「陰」とは「心」という意味です。

それまでは先を懸けて切りあって力の強い方が勝っただけでした。新陰流は、それぞれの切りあいの心が大事だということです。新陰流で一番重要なのは「敵に従って勝つ」ことです。普通は自分の力で勝とうとしますが、そうではなく相手が打ってきたところを心を読んで、隙を斬れば必ず勝つ。「我が勝ちは敵にあり」です。家康は、そこを評価して御家流としました。天下を泰平に導くために剣術を「殺人剣」から人を活かす剣、「活人剣思想」へと導くためです。10月4日（火）午後10時からNHKのETV特集で放送される『知恵の泉』「柳生宗矩」で、私がその辺の話をします。

―円明流とは。

宮本武蔵が開祖となる円明流が春風館道場に秘かに受け継がれていたのです。それを私が世に紹介したのです。

円明流とは、宮本武蔵の創始した有名な二刀流のことです。「二天一流」という呼称で有名ですがそれは晩年のことで、武蔵は29歳までに60回戦い全て勝ちました。その頃は「円明流」でした。

宮本武蔵と尾張柳生の柳生兵庫助は名古屋で交流があり、その密接な関係はその後も春風館道場にまで続いています。

―赤羽根さんの息子さんのことを以前本紙「ひと」欄で読みましたが。

赤羽根大介は、館長の武術の素晴らしさに傾倒し、名古屋に熱心に通い、柳生新陰流や槍術などを将来的に関東地区で受け継ぐだけでなく、円明流十七代継承者に任命されています。

―尾張貫流槍術とは。

春風館道場は、表看板は尾張貫流槍術の道場でした。貫流とは、槍に管をつけて切っ先を鉄砲玉のように飛び出させる。そういう武術で、刀で切るよりただんぜん早いわけです。ここの道場の人たちは槍を中心に稽古をしていました。春風館は総合武術の道場です。そしてその中に静流自在剣も ありました。

静流自在剣　義経が静御前に伝授

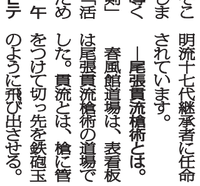
―自在剣とは。

自由自在の自在です。つまり、いかようにも自由に使えるということです。元々は、刀に長い棒を付けた、薙刀の原型のようなものです。

―自在剣を静流と呼ぶのは。

源義経が静御前に教えたとされる薙刀だからです。義経は、若少の頃は京都の鞍馬に幽閉されていましたが、そこで僧から剣術を習いました。義経が静御前に護身術として教えたのが静流自在剣です。その自在剣が神戸家に伝わって残っていたのです。神戸家は、元は伊賀の城主でした。後に滅びますが、神戸家自体はその後も残り、静流自在剣が伝承されました。その末裔神戸金七が春風館の初代館長です。

義経と静は鎌倉に縁が深いので、静流自在剣をぜひとも鎌倉の人たちに伝えるようにという加藤現館長の指示を受けて私たち関東支部が普及活動を続けています。


静流薙刀稽古風景

赤羽根龍夫　神奈川歯科大学名誉教授、春風館関東支部長

新陰流・円明流稽古会門人

鎌倉では、鎌倉体育館で日曜日、見田駐念体育館では主に水曜日に稽古をしています。藤沢では三笠宮記念館で主に土曜日に、横須賀では坂本コミュニティセンターです。東京や横浜でも開いています。ネットで「新陰流・円明流稽古会」を検索すれば様々な情報が簡単に手に入ります。

―柳生新陰流、円明流、静流自在剣をぜひとも見学したいという時には。

10月29日に玉縄の龍寶寺で開催される「第四回玉縄城主墓前祭」で、11月3日に東京の明治神宮で、11月5日に鶴岡八幡宮で開催される「鎌倉古武道大会」で、この紙面で紹介した武術の演武が披露されますので、ぜひお越しください。

―どうもありがとうございました。

新陰流・円明流稽古会
☎090・1665・2980
http://blog.livedoor.jp/shinkage_keiko/
daisuke.akabane@gmail.com

鎌倉の失われた風景 ㉙
鎌倉石の石切り場

島本　千也

鎌倉らしい風景を鎌倉石が演出している例がある。古い五輪塔や宝篋印塔、杉本寺のすり減った石段、妙法寺の吾の石段などである。河川の側溝にも使われている。

鎌倉石は、家屋の礎石、束石、土留、石垣、石塀、門柱、かまど、流し、井戸枠などさまざまな用途に使われてきた。供給地は鎌倉の各所の石切り場で、地元の石屋（石材店）が切りや加工などを行っていた。石切り場は十二所、浄明寺、二階堂、名越、極楽寺、山ノ内、今泉、腰越などにあった。

「鎌倉石」の呼称は鎌倉郡産の石材の総称で、藤沢市の村岡地区や片瀬地区などの石も鎌倉石と呼んだようである。

一方、葉山方面の地石は「佐島石」と呼ばれている。現、横須賀市の佐島地区に供給地（石切り場）があったからである。何れも軟石で、花崗岩系の堅石とは異なり、爪で削れる固さ。粟石の呼称もあり、粟状の細砂の凝灰質砂岩で、佐島石の方が組成が荒い感じがする。鎌倉石は火や水に強いのが特徴で、流やかまどなどに使われていた。

鎌倉山には鎌倉石のマントルピースがあった。豊島屋の銘菓「きさらぎ」（求肥）は鎌倉石をイメージし包装紙にも鎌倉石がデザインされていた。

鎌倉石の採掘は大正の震災前が盛んで、職人がつるはし一本で作業していた。その後は大谷石などの普及もあって衰退している。明治・大正期の別荘の所在を確認する際には、種の残像として鎌倉石の有無が役に立つこともある。建築素材は時代の編年指標となるからである。昭和40年代の「古都保存法」施行後、採掘は全く行われなくなり、新たな供給はなくなった。しかし、鎌倉石の風情を求める需要は現在もあり、古い建築現場などのはずしが再利用される。地元の素材を使った景観は風土になじむと言える。石切り場の痕跡は今も鎌倉の各所に残るが、石切りの風景は失われている。

鎌倉山3丁目にあった鎌倉石のマントルピース

古武道で心と体を健康に

―現代において武術を究めることの意義は。

古武術は、命を賭けた戦いから生まれました。ですからそこには日本人の体使いのエッセンスが含まれています。勿論、今は戦いのない時代ですから実用のためではありませんが、その構え、動きに含まれている体使いは現代人に有効な、日本人にとって伝えてゆくべき重要な体使いが残っています。最近そのあたりをテーマに『古武術「仙骨操法」のススメ』（BABジャパン刊）を出版しました。

―今のスポーツは、より早くより高くでしょう。

古武術は身体の自然な動きを重視するのでスポーツに多い腰痛や膝痛などの健康障害はありません。私の稽古会には目録を得た師範が7人いるのに、武術の極意を求める若者だけでなく、児童から高齢者までそれぞれの目的に応じてお教えすることができます。

―私もやってみようというときにはどうすればいいですか。

食の安全は、命を守る・ということ！

歴史と伝統のある鎌倉を梁山泊に！

東京の日所といえる築地市場の移転先豊洲で、思わぬ問題が浮上しています。

常日頃から「食の安全」には厳しい目を向けていたはずの日本人が、何か軌道をはずし始めているような危機感を覚えます。それは多分「食に対する緊張感の欠如」から来ているのではないでしょうか！

世界のどこかで、今も飢えで命を落としていく子供たちがいます。日常の暮らしでさえも衛生面が脅かされ、安心して飲み水さえも飲めない人々がいます。私達は、今一度「命の尊さ」を本気で考える岐路に立つべきではないのかと思うのです。

☆鎌倉市倫理法人会　通信

いざ鎌倉！ ㊵
成功への出陣

健康百科　通信 ㊿
いじりすぎていませんか？耳の中

日本耳鼻咽喉科学会専門医　濱田　彩子

耳だれが出た、耳が痛い、耳が詰まる、聞こえが悪いといった症状を訴えて来院される患者さんの場合、考えられる病名は、急性外耳炎、急性中耳炎、外耳道湿疹、外耳道真菌症、耳垢栓塞などです。

とりわけ、耳が日常的に痒いために、つい綿棒や耳かきをしすぎてしまい、結果的に外耳道の皮膚を掻き壊し、炎症を自ら引き起こすケースが非常に多くみられます。そして、その症状をなんとかしようと、さらに自分でいじり続け、状態の悪化を招いたり、また、耳垢を取ろうとして逆に耳垢を奥へ奥へと押し込んでしまうケースや、湿った耳垢や耳だれなどを培地にして、外耳道にカビが繁殖してしまう外耳道真菌症にまで至るケースもあります。

耳の中は、ご自身の目で直接見ることのできない器官ですので、いじりすぎて自身で病態の悪化を招く可能性が高いのです。いじりすぎてもだめ、いじらなすぎもだめ、何事もほどほどで。

耳に違和感を感じた場合には、自己判断せずにお近くの耳鼻咽喉科専門医への受診をお勧めします。

浜田耳鼻咽喉科医院院長
鎌倉市大船1―23―31
☎0467・46・2336

日本の伝統芸能にふれる秋
長唄・三味線　親睦勉強会

歌舞伎を見たことがない方でも、「娘道成寺」、「勧進帳」などの長唄、「鮫人」などの三味線音楽を耳にしたことがあるはず。長唄は歌舞伎の伴奏音楽として発展してきた音楽で、小唄、端唄、浄瑠璃などを習得するにも長唄の素養は欠かせず、三味線を習うなら「まず長唄」といわれる。

10月23日（日）午後2時～4時、鎌倉婦人子供会館で、杵屋会の杵屋勘志津さんが指導する教室風景公開する。

勘志津さんは浅草生まれ。海外での生活で日本の文化を伝えることの大切さを実感し、30歳をすぎてから長唄三味線方・六世杵屋勘五郎さんに入門し、40歳で師範名取試験に合格。以来、長唄の普及を目指し、国内外で演奏活動のほか、鎌倉に教室を持ち、後進の指導にも力を入れている。初心者にもわかりやすく、個性を伸ばす、楽しい指導は定評がある。

「はじめようと思ったらまずは体験にいらしてください」と勘志津さん。

問い合わせ☎0467・31・8685、080・3461・9470

杵屋勘志津さん

いざっ!! 鎌倉てらこや ㉙
ごちそうさまでした！

小木曽　駿

あればけがをしないように張りつけていた大陽が影を潜め、空も風や雨に秋の気配を感じるようになった。2016年の夏も、終わりを迎えつつある。

鎌倉てらこやでは、8月に「夏休み合宿」＝写真＝のお寺合宿を2回実施し、子ども・保護者・スタッフ合わせて450人以上が参加した。

特に印象的だったのは、朝ご飯を食べる、ある男の子と男子学生の姿だ。男の子はおかゆが苦手らしく、なかなか箸を進めることができない。食事の時間が終っても、食べきれずにいる男の子の隣で、そっと寄り添って学生が、そっと語りかけ、昨晩も食べきれず男の子が梅干しがついていたので、最後まで「食べきる」体験をして欲しかったとのこと。ゆっくりと、男の子のペースに合わせて、励まし、見守り続けていた。そして、最後の一口を頑張り、手を合わせ、二人で「ごちそうさまでした！」と声を挙げた。空の食器を誇らしげに見せつける、得意満面の笑顔がまぶしかった。

合宿後のお子さんの様子を、保護者に尋ねると、「ご飯前に、お経を唱えていますよ！とあんが洗鉢したことを話してくれます」と、食事に関するお話をして下さることが多い。普段は何気なく過ごしがちな食事を、しっかりと向き合う特別な体験は、子どもたちにとって印象深いようだ。秋、冬を越え、春が過ぎれば、また夏がやってくる。しかし、2018年の夏は、今年しかやってこない。目の前の子どもたち一人ひとりとの、その瞬間を大切にして向き合い、最善を尽くすこと。そうした関わりから育まれた思い出が、子どもたちの胸の中に刻まれていたとしたら、これほど嬉しいことはない。

こうした合宿が実施できているのも、お寺の皆様をはじめ、合宿へとお関わり頂いた全ての皆さまのお力の賜物に他ならない。改めて感謝申し上げたい。

鎌倉てらこや事務局
☎0467・84・9746
（平日13～17時）
http://kamakura-terakoya.net/

趣味で集めた銘品紹介
サラリーマンのコレクション展

横浜在住の戸井田正さん（63）が定年を機に、11月5～13日鎌倉市大町の戸井田工務店3階会議室で、長年収集してきた版画のポスターのコレクション展を開く。

正さんは同工務店の経営者父に、鎌倉で生まれ育ち、幼いころから雪の下の県立神奈川近代美術館に通って絵画に親しんでいたという。

東京の画廊で長谷川潔の銅版画を入手したのをきっかけに、休日は国内外の画廊巡りをして二、三十点を収集。「おかげで人生が豊かになった」と話す。

午前11時～午後5時、会期中は本人が会場で対応してくれる。

問い合わせ☎0467・24・7777

シャガールのポスター「カルメン　音楽の勝利」

最先旨様に紹介したい日本人の女性医師がいます。特定非営利活動法人「ミャンマー・ファミリー・クリニックと菜園の会」代表・名知仁子氏です＝写真。1963年新潟生まれ。1989年日本医科大学第一内科医局入局、1994年マザーテレサの本にあったもしあなたの愛と献身に与えられたなら…という一節に感銘を受けると同時に、さまざまな問題に疑問を感じ、国際医療を志す。2002年国境なき医師団の登録を経て、海外医療援助活動に初参加。2008年医療の恩恵を受けられないまま暮らすミャンマーの人々のために医療クリニックと菜園をつくり、自立循環型の援助を提供できるよう単独で任意団体「ミャンマークリニック菜園開設基金」を設立。2012年「ミャンマー・ファミリー・クリニックと菜園の会」が特定非営利活動法人として認定を受け、正式に発足。団体代表に就任し、現在に至っています。

名知仁子先生の講演会が開催されます。「命の現場で日々吸う名知先生の真実の講話を多くの方々と分かち合いたいと思います。

11月14日（月）18時半、鎌倉芸術館3階集会室。会費千円。懇親会別途2千円。

◇　◇

＊毎週火曜日朝6時半から由比ガ浜公会堂でモーニングセミナー開催中。

鎌倉市倫理法人会事務局
☎045・315・2433
FAX045・315・2434

ゆみ中医漢方クリニック
漢方婦人科・漢方皮膚科
漢方思春期婦人科
漢方不妊治療婦人科
逗子市小坪1－18－4
TEL／0467-22-9184
http://www5e.biglobe.ne.jp/~yumicyui/
診療時間
午前：　9:00～11:30（火～土）
午後：14:00～16:30（火・木・土）
予約制・各種健保扱・自費診療有

訪問診療・往診
医）湘南友和会
さとうクリニック
認知症対応　在宅リハビリ
在宅医療処置　癌末期管理
在宅看取り　緊急時病院連携
〒247-0061 鎌倉市台5-8-29
TEL 0467-43-5220

朝日新聞の購読料は口座振替で
・手数料は一切不要
・手続き簡単
ASA
従業員募集
詳しくは最寄りのASAへお問合せを
・専業従業員
・婦人パート
・学生アルバイト

清興建設が提案する高齢者の住まい
長谷モデルルームOPEN！
お問い合わせは
☎0467-24-3700
seiko

終の棲み家を考える ㉚
お出入りの復活

建築に携わる者として何より欲しいのが出入りを許された家の数だと思っています。一昔前まではある程度の家には必ずお出入りが許される人が決まっていました。鳶・大工に始まり、畳・左官・植木職、また米屋・酒屋・肉屋・魚屋と生活に関わる全てに、お出入りが決まっていました。

最近は経済の効率化や後継者の問題等でめっきり少なくなりました。見掛けの金額だけを売り物にする紙やセールスで出入り業者を排除してしまった結果、本当に困った時に誰に相談したらいいか分からなくなってしまっている人が沢山います。業者の方も一旦他の業者が出入りすると、何となく顔を出しにくくなり縁が切れてしまうのです。

もう一度考え直してみませんか、一回限りの付き合いでなく、近くで何時も見守っているお出入りの仕組み。家の中、生活の中に入る仕事です、一家に一台は車ですが、一家に一人は親身になって家や家族の事を考えてくれる、出入りを持つべきだと思います。

高齢化が進み、家族が少なくなってしまい事件や事故が多くなっています。住宅や車や家電製品と同じ業製品として扱い始めて、無くしてしまった“お出入り”を復活していただきたいと考えています。

■日向建設　鎌倉市大船1－15－3
☎0467・47・5454　http://www.hyuuga.co.jp